

■徳大寺実則 公卿，政治家。尊攘派堂上の一人として活躍し，維新後は，侍従長として明治天皇の信任を得た。
とくだいじさねつね
蜚社の獄・ 1839＝ 京都で，_右大臣徳大寺公純の長男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 6歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1848＝ 9歳：

尊徳報徳論・ 1851＝12歳：侍従に任じ，

ペリー来航・ 1853＝14歳： 右少将・左中將を経て，

蕃書調所・ 1857＝18歳：従三位，
五ヶ国条約・ 1858＝19歳：正三位に叙され，

桜田門外変・ 1860＝21歳：

生麦事件・ 1862＝23歳：_権中納言，従二位に進んで，国事御用掛となり，
8月18日政変 1863＝24歳：_議奏加勢に補され，さらに議奏本役となったが，この間，尊攘派堂上の一人として活動していたことから，
<八月十八日の政変>により，参内・他行・他人面会を禁じられ，続いて議奏を罷免された。

薩長同盟・ 1866＝27歳：
大政奉還・ 1867＝28歳：_遠慮を許されると，正二位に昇り，
明治維新・ 1868＝29歳：*参与，ついで議定となり，さらに内国事務局督を兼ね，権大納言に任じられた。
戊辰戦争終・ 1869＝30歳：内廷知事を兼任し，
初の日刊新聞1870＝31歳：山口藩に内訌が起ると宣撫使として同藩に赴いた。
廃藩置県・ 1871＝32歳：*大納言を辞して麿香間砥候および宮内省出仕を命ぜられ，宮内卿となり侍従長を兼ねる。

明治6年政変 1873＝34歳：

初の民間工場1875＝36歳：

西南戦争・ 1877＝38歳：宮内省官制の改定に伴い，侍従長などが廃されると一等侍補に補されるが，

明治14年政変1881＝42歳：

秩父事件・ 1884＝45歳：*側近奉仕者の制が改まり，侍従職が設置されると侍従長に任じられ，以後明治天皇の信任を受けて，崩御
に至るまで侍従長として側近に仕える。華族令制定で侯爵となり，華族局(のち爵位局)が設置されると，
内閣発足・ 1885＝46歳：_その長官を兼任した。

帝国憲法発布1889＝50歳：

大津事件・ 1891＝52歳：_三条実美没後，内大臣を兼ね，先帝御事蹟取調掛長に補されて「孝明天皇紀」の編修を主宰，

郡司千島探検1893＝54歳：
日清戦争始・ 1894＝55歳：

Bushidou・ 1899＝60歳：従一位に昇り，

教科書疑獄・ 1902＝63歳：

日露戦争終・ 1905＝66歳：
満鉄発足・ 1906＝67歳：_これを完成させて，大勲位菊花大綬章を授けられ，

大逆事件判決1911＝72歳：公爵に昇ったが，
明治天皇没・ 1912＝73歳：*明治天皇崩御後，本官ならびに兼官を辞し，

べんじん条約・ 1919＝80歳：東京府千駄谷の自宅で_没した。
「徳大寺実則日記」がある。